

# 街灯増やして注目されることが人口減少対策!? トップダウンではなく市民に寄りそう 市政運営に転換を!!

3月29日に神戸市議会本会議がひらかれました。日本共産党神戸市議団を代表して西ただす議員が登壇し一般質問をおこないました。

- 質疑項目**
1. 学校の改修について
  2. 中学校給食について
  3. 地球温暖化防止について
  4. 「リノベーション・神戸」事業の見直しについて

久元市長は2019年9月に神戸市が日本で最も人口が減少したことへの対策としてリノベーション神戸第一弾を打ち出し、30億円もの巨額の予算をかけて街灯を設置する計画を実施しました。これは当時から「人口減少対策というなら子育て支援などにもっと力を入れてほしい」との市民の声を無視した施策でした。ところが今議会において、予算編成時に「初歩的なミス」があったとして、さらに22億円

もの補正予算が計上されるに至りました。建設局による報告では、予算よりも『「防犯灯を現行の1.5倍、4万8000灯増設」という命題をどのように実現するかに意識が傾注してしまった』『市民の税金を使って事業を実施しているという認識が持てていなかった』ことが原因としています。西議員は、市民の税金を扱っているという意識よりも市長の出した命題が優先される状態について見解を求めました。

## 西議員が一般質問



## 答弁ダイジェスト

**油井副市長：**神戸が注目され新たに住んでもらうためには、街灯を増やし、明るく安全な街にすることが非常に大事だ。4万8000の街灯は今までに経験したことのない数。設置場所については計画になく、目標達成に傾注するあまり複数のミス重なった。

**西議員：**結局は現場を見ず必要な数をつかまずに決定したことが失敗の原因だ。

**油井副市長：**結果的に3万

5000になったが、これで明るい安心安全なまちづくりができていると思っている。

**西議員：**三宮再開発や必要以上に街灯を増やすような多額の予算を計上する不要不急の事業よりも、市民生活を応援してこそ明るい街になる。市長が頭の中ですすめたような計画を上から押し付けるのではなく、市民生活に目を向け、市民に寄りそった予算をつけるべきだ。

## 地球環境悪化を黙認するな!

神戸製鋼（以下「神鋼」）は、現在灘浜に増設中の石炭火力発電所を4月中旬に試運転をすると発表しました。久元市長は2050年にはCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを掲げていますが、このまま2021年と22年に2基の石炭火力発電所が本格稼働すれば、150万の市民が排出するよりも多くのCO<sub>2</sub>

を神鋼一社で排出することになります。すでに温暖化による気候危機がすすみ、大きな災害が世界でも神戸市でも広がっています。西議員は、地球温暖化をとめ、市民の命や安全を守るためにも神鋼が推しすすめる石炭火力発電所の設置には反対すべきと質しました。

始めているので我々も努力していく。

**西議員：**神鋼を認めながら神戸市が目標や宣言を出す意味がわからない。自治体として真剣になれば石炭火力発電からの脱却をすすめる取り組みはできる。神戸にその選択はないのか。

**今西副市長：**CO<sub>2</sub>がまったく出ないエネルギー供給ができればそれに越したことはないが、今の技術開発、資源の状況も考えながら実現可能な対応をする。

**西議員：**市長自身が「豪雨災害などの気候変動の影響が化石燃料の消費だ」と言うなら、なぜその原因に目を向けないのか。確実に(CO<sub>2</sub>排出を)減らすためには石炭火力発電所を止めるしかない。神鋼を無視して他の施策を強調し、いかにもやっているふりをして、実際は地球環境の悪化を黙認し、市民の命や安全を守らないなど自治体としてあってはならない。

## 答弁ダイジェスト

**今西副市長：**国のエネルギーミックスの中で石炭火力発電所の割合が決められ、神鋼

が稼働している。ただこれがいつまでも続くことがいいというわけではなく、抜本的対策をしようと国も大きく動き

# 安上がりな民間参入の失敗を教訓に 自校調理の中学校給食を

神戸市の中学校給食は、市民の粘り強い運動で実現しました。しかし、教育委員会は、予算を抑えた民間業者によるデリバリー方式を採用したことで衛生管理基準違反が問題となり一時は給食がとまるような事案も起こりました。また、喫食率を上げるためにレトルトを増やし、容器を新しくするなどしましたが喫食率は低いままです。こう

した中ようやく教育委員会も全員喫食でのあたたかい給食をすすめる方針を打ち出しましたが「費用対効果や効率性などの観点から最適な方式を検討する」としています。西議員は「子どもたちにとって最善のあり方を検討してすすめるべき。予算を抑えたために結局不十分で終わった失敗を教訓に『あたたかくておいしい小学校のような給食を』

の願いを正面から受けとめ自校調理方式を基本とした給食

へ転換すべきだ」と質しました。

## 答弁ダイジェスト

**長田教育長：**自校調理方式は給食室の整備にかかる財政負担などの課題がある。

**西議員：**教育委員会もランチボックス方式の失敗と親子方式への期待を認め、今回の方針転換につながったはずだ。子どもや保護者の声を受けとめるといながらお金の問題が先に立っている。子どもや保護者が求める「小学校のような給食」という願いにこたえなければまた失敗する

のではないかと。

**長田教育長：**今回おこなったモデル実施の結果で、子どもたちが「すべて温かいもの」を求めていることがわかった。ランチボックスを改め、今年の秋までに基本方針を策定する。

**西議員：**温かいものだけを求めているわけではない。これまで安上がりな民間参入の失敗を教訓にして自校調理方式を基本にすすめるべきだ。

# 児童の安全・安心を守るために 学校施設整備への予算を増やせ

神戸市は、児童生徒の安心安全を確保することが重要な課題とし、2018年に神戸市学校施設長寿命化計画を策定しました。西議員は、この間東灘区の小中学校を訪問し、多くの学校で老朽化などにより安心して学ぶ環境が保障されていないことを痛感してきました。住吉中学校でも老朽化対策が予算の関係で棚上げに

なりました。「このようなことが起こるのは、学校の施設整備に対する予算が根本的に不足していることが原因だ」と強く訴え、児童の安全・安心に真剣に向き合い、必要な予算をつけるべきと追及しました。

## 答弁ダイジェスト

**長田教育長：**不具合箇所の早期発見を目的として専門家による全学校園への施設安全パトロール回数を増やし、必要な場合には速やかに修繕をおこなっている。

**西議員：**パトロールを増やして危険箇所が見つかっても予算が足りず、すぐに着手できないのは問題だ。

**長田教育長：**子どもたちの安全を守るために必要な予算を確保し教育環境の改善につとめたい。

**西議員：**住吉中学校は雨が天井から壁に侵食し、部分的な雨漏りではすまなくなっている。児童のことを考えてすぐしてほしいという声があがっている。この声に答えるべきではないかと。

**長田教育長：**すぐに確認し必要な対応をする。

**西議員：**神戸市は全国に率先してGIGAスクール構想に予算をつけすめたと誇っているが、児童が安心して学べる環境が保障される学校整備にこそ予算をつけるべきだ。

# ムダな大型開発やめ、市民のくらし応援の予算確保を

## 日本共産党神戸市会議員団が予算組み替えを提案

3月26日、日本共産党神戸市会議員団は、2021年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議を提出。味口としゆき議員が説明をおこないました。

今市民から求められているのは、三宮一極集中の再開発に象徴される不要不急の大型開発の強行ではなく、長引く新型コロナウイルス感染症の

影響から市民の命とくらしを最優先に守り、市民の苦難に寄りそう施策であるとして、予算の抜本的な組み替えを求めました。

## 日本共産党神戸市会議員団の提案する組み替えの柱立て

### 第1の柱 新型コロナウイルス感染症の深刻な被害から市民の命と暮らしと生業を守る

1. コロナ禍で減収となっている地域医療機関への支援を強め、地域医療を守ります。
2. コロナ禍で経営継続が危ぶまれる小規模自営業者への支援金を創設します。
3. 学生の就学継続のための特別給付金を創設します。
4. 公衆衛生の最前線である保健所の検査体制を充実させます。
5. 学校教室・保育園・児童館・特養・避難所の新增設や整備により三密回避をすすめます。

### 第2の柱 市民負担を軽減する

1. 介護保険料値上げを中止し、国保料を引き下げます。
2. 子どもの医療費は、高校卒業まで通院にかかる一部負担金を廃止し、無料化を実現します。
3. 久元市長が始めた「認知症対策」を口実にした住民税増税は中止します。

### 第3の柱 子どもの最善の利益を守り、教育と子育てを支援する

1. 小学校全学年と中学1年生まで35人学級を実施するために教員をふやし、校舎の整備をすすめ、豊かな学びを保障します。
2. 小学校のようなおいしい中学校給食を実現するために、親子方式を先行実施します。

### 第4の柱 市民と中小業者を応援し、市民の命と健康を守る地域の基盤を強める

1. 地域経済で好循環を進めるために、住宅・店舗リフォーム助成を創設し、中小業者を応援します。
2. 衛生監視事務所の統廃合を中止します。
3. 阪神・淡路大震災の教訓からつくられた、あんしんすこやかルームを存続します。

### 第5の柱 「気候危機」に対応し、地産地消のエネルギー政策を神戸からすすめる

1. 原子力発電所・石炭火力発電所に頼らない地域分散型エネルギー政策を推進します。



# 朝倉 えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP: <http://www.jcp-kobe.com/>



予算特別委員会で質問する朝倉議員

## 濟生会兵庫県病院は 今のまま存続を

久元市長は、濟生会兵庫県病院と三田市民病院の統合再編について「急性期医療を守るため、再編統合を視野に入れた対応が必要」と言います。

統合により、濟生会病院が今の場所から遠くなれば、救急搬送にも遅れが生じます。朝倉議員は

## 濟生会兵庫県病院 三田市民病院

3月3日予算特別委員会で「急性期医療を守るというなら、今の場所で今のまま存続させるために力を尽くせ」と求めました。

## 統合ありきの検討委員会は止めよ！

3月22日神戸市議会福祉環境委員会で、三田市民病院を守る会と濟生会兵庫県病院の存続・充実を求める会から提出された「濟生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合に関する陳情」等が審査されました。

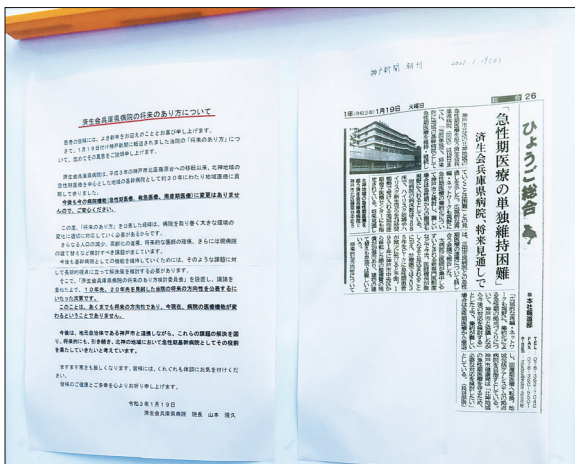
2020年度に三田市民病院・濟生会兵庫県病院・神戸市が開催している連携会議で、濟生会病院が突然「赤字経営のため、単独での急性期医療の維持継続は困難」などと報告しました。それを受けて、神戸市は2021年度に「統合も視野に入れた検討委員会を開くための予算」1,000万円を計上し

ました。

共産党市会議員団は「予算化する前に濟生会病院から経営状況などをきちんと聞いたのか？」と追及しました。神戸市は、濟生会病院とは電話で話ただけで、具体的に詳しく話を聞くことなしに予算措置したことを明らかにしました。

また、両病院の統合問題は2年前にすでに神戸大学病院が再編すべきとの方針を出していると言っており、当時から再編ありきだったのではないかと追及しました。

## 「濟生会病院は10年間何も変わらない」説明と矛盾



濟生会病院の入口に掲載されていた張り紙

さらに、共産党市会議員団は濟生会病院の入り口やホームページに「10年先、20年先を見越した当院の将来の方向性を公表するにいたった次第です。このことは、あくまでも将来の方向性であり、今現在、病院の医療機能が変わるということではありません」と病院長のコメントが掲載されており、これを見ればますます統合をするような状況にないのではないかと追及しました。健康局長は「濟生会病院からは、非常に危機感があると聞いている」と答弁しました。ホームページに書いてあることと矛盾することとなります。

## 済生会病院は、地域の身近な病院として存続を！

三田市民病院改革プランでは、新しい統合病院は「2.5次救急を担う病院として整備する」とあります。共産党市会議員団は「これまで済生会病院は2次救急を担って地域の身近な病院であったが、統合再編となるとより高度に特化した病院と

なり、性格が変わる不安がある」と質しました。健康局長は「北神地域で急性期医療の中核機能を維持することを主眼として検討していきたい」と答えるにとどまりました。



済生会兵庫県病院

## 神戸市は市民への説明責任を果たすべき

共産党市会議員団は「岡場駅近くに済生会病院が存続していることは市民には大切なこと、検討委員会を始める前に説明会を開くべきだ」と求めました。健康局副局長は「検討委員会設置の資料提供は行っており説明は行えている」と強弁。神戸市の市民に対する不誠実な態度が明らかとなりました。

この2件の陳情は、日本共産党は採択を求めましたが、自民・公明などの反対により不採択となりました。

### ●陳情の各会派の態度

○採択 ×不採択

日本共産党	自由民主党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ
○	×	×	×	×	○

## 市民の声も実態も把握しないまま、統合へ前のめりは許されません



神戸市は「北神・三田市の急性期医療の確保に関する検討委員会支援業務」を委託するコンサル業者を公募します。

募集資料の配布は4月12日から申込期限は20日と、わずか9日間しかありません。しかも、6月中旬に業者と契約を結びますが、仕様書を見れば、6月中には「北神地域及び三田市地域の現状分析・将来的に必要な医療機能の分析・検討」を、

神戸市に提出するとあります。業務内容には、市民ニーズや利用者実態など把握する項目さえ含まれていません。

これまでの既存データからはじき出した数字だけで、市民ニーズも把握せずに議論するなど、市民理解も得られず、このまま医療圏を超えた統合に進むなど許されません。

### 検討委員会 公開開催

5月には第1回目の検討委員会が開催されます。公開で行われますが、コロナの関係もあり、傍聴人数は制限されます。引き続き声をあげていきましょう。

市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。



# 市民のいのちを守るため迅速なワクチン接種・PCR検査・医療体制強化で感染封じ込めを

6月17日に神戸市定例会がひらかれ、日本共産党神戸市議団を代表して森本真議員が議案質疑をおこないました。

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 質疑項目
1. 命を救うための医療体制強化について
  2. ワクチンの安全・迅速な接種について
  3. PCR社会的検査の抜本的な拡充について
  4. 打撃をうけているすべての事業者および市民に十分な補償と生活支援をおこなうことについて

コロナ感染拡大の第3波・4波では、病床の確保が困難になり、自宅療養や高齢者施設での留め置き等が増大し、本来入院すべき重症者でも入院できない状況が生まれました。それにもかかわらず神戸労災病院では急性期病棟を44床、三菱神戸病院でも24床も削減していたことが明らかになりました。神戸労災病院は、2018年の地域医療構想調整会議では「病床機能は現状

維持」とされていましたが、昨年6月、市内で病床が足りず困っていた時に病床を削減していました。この調整会議には、神戸市から保健部長が出席していましたが、市長も副市長も把握できておらず、2病院の病床削減について一切答弁できませんでした。森本議員は、第5波に向けて、さらなる病床確保が必要だと追及しました。

## 森本議員が議案質疑



■病床機能再編支援事業計画書提出及び圏域地域医療構想調整会議の意見 (単位:千円)

圏域	医療機関名	事業概要					支給額(見込)	圏域意見
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計		
神戸	再編前	7	303	50	0	360	80,256	妥当
	再編後	7 (0)	259 (▲44)	50 (0)	0 (0)	316 (▲44)		
神戸	再編前	0	188	0	0	188	43,776	妥当
	再編後	0 (0)	164 (▲24)	0 (0)	0 (0)	164 (▲24)		

2021年3月12日兵庫県医療審議会資料より一部抜粋

## 民間任せの姿勢改め、市民が安全にワクチン接種受けられる対策を

神戸市では、75歳以上のワクチン接種予約、65歳以上の接種券の配布がおこなわれ、16歳以上の接種券も6月11日から順次発送されています。

森本議員は、希望するすべての市民が接種できるように、安全かつ取り残される市民がでないように、万全の対策をとるべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**恩田副市長：**さらなる病床確保は難しい。医療の逼迫はワクチンで解消され则认为している。

**森本議員：**ワクチンは重症化や発症を抑えることができるもので、打てばコロナが終わるものではない。病床が足りない中、神戸市はなぜ神戸労災病院と三菱神戸病院の病床削減を認めたのか。

**久元市長：**通告をしていた

できれば答えられたが、個別の病院の詳細は存じ上げない。病床の確保についての考えは共有する。

**森本議員：**神戸市の市民の命を守ることがコロナ禍で極まって大事になったにも関わらず、なぜ市民の命を守る病床を減少させてしまったのか。神戸圏域医療構想調整会議は神戸市も関与する大事なことだ。きちんと究明すべきだ。

### 答弁ダイジェスト

**久元市長：**今月中に16歳以上のすべての市民への接種券の配送を完了する予定。働く世代や子育て世代、障害者、DV被害者・外国人等といった配慮を要する方にそれぞれきめ細やかな対応が必要と考えている。

**森本議員：**対策をとると言ったが、本当に安全かつ迅速に接種できるのか。これまで

電話予約システムやワクチンの輸送を民間委託し、ワクチン接種担当係長を任期付職員で15名も募集しないとけない状況はいかがなものか。

**恩田副市長：**職員の勤務時間や新しい業務を考え、必要なものは民間の力を借りる。

**森本議員：**人的体制がとられていないのは、震災以降からこれまで続けてきた職員削減が大きな原因だ。

# これまでの検査抑制の方針転換し PCR検査拡充を

神戸市では、これまで長田区の老人保健施設をはじめ、高齢者施設・医療機関などで多数のクラスターが発生し、死亡者も多数にのぼっています。これまでも求めてきたように、無症状感染者、初期症状感染者を見つけ出し保護・

隔離することが、感染力が強い変異株の拡大のもと大変重要になっています。森本議員は、高齢者施設、医療機関・障害福祉施設の職員・入所者への頻回検査の実施と、保育園・学校などにも検査対象を拡大するよう求めました。

**答弁  
ダイジ  
エスト**

**恩田副市長：**これまで国の要請を超えて市独自で実施してきた。頻度も今後検討を考えているが、ワクチン接種を迅速にすすめていくことが今一番大事だと思っている。

**森本議員：**副市長の答弁は「ワクチン接種をしたから大丈夫だ」というように聞こえる。感染者が少ないときにこそ、検査の対象を広げ頻回におこない抑え込むことが大事だ。

**恩田副市長：**ワクチン接種したところは定期的検査の対

象からはすすことにしている。

**森本議員：**デルタ株によってワクチンを接種していない若い方に広がる可能性があることを考えると保育所や学校にも頻回の検査が必要だ。

**久元市長：**PCR検査の必要性は排除するわけではないが、今はワクチン接種を早期にすすめることに注力する。保育士の方々には優先接種を考えている。

**森本議員：**ワクチン接種を最優先ですすめつつ、PCR検査で陽性者を早く見つけ出し、クラスターを出さないことに注視していただきたい。

# 国・県任せにせず困っている中小業者に 市独自の支援メニューを

この度の神戸市の補正予算案では、飲食店等時短営業協力金の補正予算が組まれています。この間の緊急事態宣言等の影響は、特定の業界・業種だけでなく、すべての中小企業、個人事業主に深刻な打撃となっています。十分な補

償は、経済対策・生活防衛策であるとともに、感染拡大を抑止するうえででも必要不可欠です。森本議員は、昨年おこなったチャレンジ支援金や家賃補助金等、神戸市独自の経済支援策をつくるべきと追及しました。

**答弁  
ダイジ  
エスト**

**今西副市長：**昨年度は国の臨時交付金を利用して独自支援をおこなってきたが、今年度から国の交付金は県が支給対象となり、神戸市には支給されないため、国や県に必要な要望をする。

**森本議員：**「臨時交付金が神戸市に入っていないから手出しできない」という副市長の答弁だが、補正予算では、困っている事業者を救うメニューにはなっていない。定額の給付金など、今困っている事業者を救う支援をしていただきたい。

**今西副市長：**チャレンジ支援金など大きな経費を投じる事業は、臨時交付金がないと難しい。

**森本議員：**長田のケミカルや、協力金をもらっていない飲食業のみなさん、営業実態や暮らしが大変な方がたくさんいる。本当に今困っている方への支援をお願いしたい。

## 「家賃サポート緊急一時金」制度拡充のご案内

2021年4月28日より申請受付を開始している「家賃サポート緊急一時金」について、2021年4月からの緊急事態宣言の再発令・まん延防止等重点措置の適用などにより、市内中小事業者への影響が長期化していることを踏まえ、補助対象者を拡大します。

### ● 拡充後の制度概要（下線部が拡充箇所）

#### （1）対象者

以下のいずれかの要件を満たす中小企業及び個人事業主

- ①飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受けており、1～6月の売上げについて
  - ・1か月で前年（前々年）同月比50%以上減少している（一時支援金・月次支援金の受給者）
  - ・連続する3か月の合計で前年（前々年）の同期比30%以上減少している
- ②「都道府県等が実施する協力金」を受給し、1～6月の売上げと協力金の合計について
  - ・1か月で「売上げと協力金の合計」が前年（前々年）同月比50%以上減少している

- ・連続する3か月の「売上げと協力金の合計」で前年（前々年）同期比30%以上減少している

#### （2）対象物件

市内で事業のために、2021年1月から6月に賃借している建物（店舗、事務所、工場、作業場、倉庫など）

#### （3）交付額

家賃1か月分の2分の1（1事業者1回限り※、最大50万円上限）※既に受給済みの方は、再度の受給はできません

#### （4）制度拡充分の申請開始日

2021年7月下旬予定  
（現在の申請期限である7月30日も延長します）

ぜひご視聴ください

## 松本のり子・朝倉えつ子両議員が一般質問

**日時** 6月28日(月)11時30分頃より

**場所** 市議会本会議場 時間が前後する場合がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっています。ぜひご利用ください。

視聴はこちらから➡

